



平成 30 年 9 月 12 日

各 位

会社名 株 式 会 社 ミ サ ワ
代表者名 代表取締役社長 三澤 太
(コード：3169 東証第一部)
問合せ先 取締役シニアマネージャー 鈴木 裕之
(TEL. 03-5793-5500)

第 2 四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 30 年 3 月 13 日に公表した、平成 31 年 1 月期（平成 30 年 2 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日）の第 2 四半期業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 1 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異(平成 30 年 2 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,958	百万円 106	百万円 94	百万円 49	円 銭 6.89
今回実績値 (B)	5,140	248	204	125	17.71
増減額 (B - A)	182	142	110	76	—
増減率 (%)	3.68	133.99	117.61	156.96	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 1 月期第 2 四半期)	4,518	92	73	47	6.61

2. 差異の理由について

売上高につきましては、今シーズンから投入した新商品の販売が好調であったこと、及び人気の既存商品について過年度に比して適正量の在庫を繁忙期である上期に確保できたことが主な要因であります。

また、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前述売上高の好調要因に加え、期中の急激な円高の影響、及び当期より取り組んでいるコスト削減努力が早期に奏功したことが主な要因であります。

なお、通期業績予想につきましては、為替の動向、今後の商品ラインナップの見直しによるセール等の実施規模、新商品の販売動向、今後増加が懸念されている物流関係コストなどの一部の販売管理費の動向など、当社の業績に影響を及ぼす不確定要素が多いことから、現時点におきまして、当初公表した業績予想値から変更しておりません。今後の業績動向により修正の必要性が生じましたら、速やかに開示する予定であります。

以上